

草 津 市 教 育 委 員 会 会 議 録

令和 4 年 1 0 月 定例会

(1 0 月 2 4 日 開 催)

草 津 市 教 育 委 員 会

出席委員	教 育 長	藤 田 雅 也
	委 員	稲 垣 明 美
	委 員	松 嶋 徹 也
	委 員	小 辻 寿 規
	委 員	我 孫 子 智 美

事務局出席者	教育部長	増 田 高 志
	教育部理事（学校教育担当）	菊 池 誠
	教育部副部長（総括）	田 中 三 男
	教育部副部長（スポーツ推進・スポーツ大会担当）兼 スポーツ推進課長	宮 田 勝 一
	教育部副部長（図書館担当）兼 図書館長	二 井 治 美
	教育部副部長（学校教育担当）兼 学校教育課長	上 原 忠 士
	教育総務課長	吉 田 克 己
	学校給食センター所長	田 中 直 樹
	第二学校給食センター所長	馬 場 英 樹
	教育研究所長	木 村 弘 子
	教育総務課係長	永 田 厚 子

令和4年10月草津市教育委員会定例会会議 次第

令和4年10月24日 午後3時00分開会

日程第1 会期の決定について

日程第2 9月定例会会議録の承認について

日程第3 教育長報告

日程第4

付議事項 (4件)

議第52号 臨時代理の承認につき議決を求めることについて

議第53号 地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定により
教育委員会の事務に関する議案について意見を市長に申し出るに
つき議決を求めることについて

議第54号 地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定により
教育委員会の事務に関する議案について意見を市長に申し出るに
つき議決を求めることについて

議第55号 草津市立教育研究所規則の一部を改正する規則案

報告事項 (1件)

(1) 寄付の受け入れ報告について

開会 午後３時００分

藤田教育長

それではただいまから草津市教育委員会１０月定例会を開会いたします。それでは議事に入りたいと思います。

—————日程第１—————

日程第１、会期の決定について、本日１日限りといたしたいと思いますが、御異議ございませんでしょうか。

各委員

— 異議なし —

藤田教育長

異議がないようでございますので、１０月定例会は本日１日限りといたします。

—————日程第２—————

藤田教育長

次に日程第２、９月定例会会議録の承認について、あらかじめ事務局から配付され、熟読されていると思いますが御異議はございませんでしょうか。

各委員

— 異議なし —

藤田教育長

異議がないようでございますので、９月定例会会議録は承認されたものと認めます。

—————日程第３—————

藤田教育長

次に日程第３、教育長報告に移ります。
それではまず私の方から諸般の報告をさせていただきたいと思います。

まず１０月１日に市内１４小学校のうち、１０小学校で運動会が開催されました。ほとんどがコロナ対策として午前中の開催でございましたが、駆け足で各校訪問させていただきました。多くの学校では感染症対策に配慮して、グラウンドに出場する学年を限定し、それ以外の学年は教室でライブ配信を見るというような

形で行われていました。また、その時間等に合わせて、多くの保護者や地域の皆さんが、参観に来られていました。各校に10分程度しか滞在できませんでしたが、全員が力を合わせたリレーや集団演技などを拝見し、マスクを外した子どもたちが歓声を上げ、楽しんでいる様子に、私自身、喜び、感動したところでございます。改めて学びを止めないことの重要性を実感したところでございます。子どもたちにとっては、今しかできない学習や体験・経験が多くございますが、これまでコロナ禍により学校での教育活動は大きな制約を受けてきました。教職員の創意工夫や保護者、地域の皆さんの御支援の下、このように徐々に教育活動が元に戻りつつあり、これからも多くの方との連携を進めながら、本市の教育活動の充実を図って参りたいと考えております。

次に、コロナ禍で2年延期になっていましたが、第1回くさつランフェスティバルが、10月15日に草津川跡地公園のあいひろばで盛大に開催されました。私は表彰式のプレゼンターとして参加をさせていただいたところでございます。秋晴れの強い日差しに汗ばむ気候でございましたが、市内外から多くのランナーが参加をされました。競技種目は10kmのラン男女、そしてファミリーラン2km、2時間耐久リレーマラソン、4時間耐久リレーマラソンの4種目ということでございました。私が表彰させていただいたファミリーランでは、親子で仲良く走っておられる姿が多く見られ、親子が一緒に何かに取り組むということは非常によいことだと改めて思いました。ファミリーランのように親子で走れる大会はそう多くないとお聞きしていました。単にタイムを競うだけではなくて、親子が触れ合う機会としても、貴重なランフェスティバルになりました。コロナ禍で子どもたちの体験の機会が減っています。子どもと一緒に遊んだり、またスポーツを楽しんだり、共通の趣味を持つことなどは、親子のコミュニケーションを深める絶好の機会であり、こういったコロナの時だからこそ、逆に親子の絆を深める機会をぜひ御家庭でも作っていただきたいと思いました。来年もランフェスティバルで仲良く走る親子ランナーに出会えることを楽しみにしています。

そして最後になりますが、このほか一昨日は、アートフェスタくさつが草津市役所近辺で開催をされ、多くの来場者があり、ワークショップでの手づくり体験や、音楽・映画の鑑賞などを楽しんでいただいたようでございます。また現在、市民総合交流セン

稲垣委員

ターキラリエでは、青少年美術展覧会が開催されており、来月には草津市美術展覧会も開催する予定でございます。私も訪問する予定で楽しみにしていますが、まさにスポーツの秋、また芸術の秋を感じられるイベントが市内様々なところで開催されており、多くの市民の皆さんにとって心を豊かにする機会としていただければと思っております。以上で私からの報告を終わらせていただきます。

それでは、委員の皆様から、教育全般に関する事項で、御意見、御感想をお願いいたします。まず、稲垣委員お願いします。

教育長がおっしゃったようにスポーツの秋、食欲の秋、芸術の秋となりました。残念ながら運動会の参観には行けなかったのですが、縮小してされていることは、ある意味、悪いことではなく、精選でき、また見直すいいチャンスなのだろうなというふうにも感じておりました。

食欲の秋ということで、今日は就学前の3歳までの子どもたちと一緒に芋堀をしてきました。本当に土いじり好きでお芋をみつけてはキャーキャーやっていました。やっぱり、自然に触れる体験っていうのはいいものだなあと思った次第です。

それから、芸術の秋については後でお話したいのですが、10月9日にうみのこ見学会というのをやられておりましたので、私も第1船の方には何度か乗せていただいていたのですが、第2船は乗ったことがなく、どうなっているのかという興味本位で行かせていただきました。基本は第1船と同じですが、学びやすさや琵琶湖らしさというものがたくさん表現されている船だと思いました。実験室も備えられておりましたし、今まで食堂というのは食べるとこだけだったのですが、学びの場にも変わっておりました。全部は見せていただけなかったのですが、日帰りではなく、1泊2日になり、5年生の子どもたちが琵琶湖をもっと楽しめる、学べる体験できる機会に早く戻るといいなというふうに感じました。たくさんの親子連れがおいでになっておりましたので、来年乗るのを楽しみにしている姿がちらほら見られました。

それから、10月18日は都市教育委員会連絡協議会の研修ということで、甲賀市の忍の里プラザに寄せていただきました。あいにく交流というのはなく、城から見る甲賀の歴史と現在という演題で、文化財保護課の方のお話を聞く機会でした。大変お話が

上手で、皆さんお城が日本にはどれだけあるかご存知ですか。びっくりしたのですが2万5,000から5万あるそうです。天守閣のある城だけが城ではないという話から始まったのですが、現在はどうなっているのかと結びつけてくださいました。草津市も中山道が通り、本陣があるというところで学べるものもありますので、もっと子どもたちを引きつけたり、この方は学校へも出前授業としてお話に行かれたり、体験してきた子どもたち、来た方たちに説明されているようでしたので、本陣界隈の中山道が活性化してきた歴史が草津にもありますので、それをキーに、学べるチャンスだというふうに思いました。

それから、先ほど教育長がおっしゃいましたように、10月21日から青少年美術展覧会が始まっており、毎年楽しみに行かせていただいています。今年、行ってハッとしたのはもの凄く華やかで明るい、すごい迫力あるというのが第一印象でした。作品数も大変多かったですし、まずは書写で、たまたまだろうと思いますが、金表と銀表が貼られているものをまとめて入口に展示されていました。今までだと、やっぱりいい子だけ出すのはいけないみたいな、平等意識でそういうことはされてなかったと思うんですけれども、ああいうふうにまとめていただくと、鑑賞がしやすいです。何でここがいいんだろう、何で違うんだろうっていうのが私にとっては見やすかったですし、やっぱり見学されている方も注目されていました。また一般の作品を見るという、見る目が養われる一つの作品の展示だなあと思って見させていただきました。それから平面と立体について、本当に平面が素晴らしくて、これはもう先生たちの指導がしっかり入っているなという作品が多かったです。子どもたちの色使いも鮮やかですし、クロッキーに至っては、ある小学校にはやっぱりかなわないなっていうぐらいの作品でした。人物画については、どの作品も工夫があって面白味がありました。特に中学校の作品が素晴らしかったです。今までと違って手が込んでおりますし、本当に楽しんでやっている姿が中学生なりに伝わってくるものがあって、どれも素晴らしいっていうのは感じました。立体作品に至っては、プラスチックとかいろんな物を利用したものも多いんですけれども、粘土や焼き物もちろほら見られて、ああいう物に触らせてあげると、低学年って粘土に触る、五感から感じる力ってすごいので、大事なのですけれども、そういう作品も多くて、とてもよかったなと思いま

した。本当にコロナ禍で大変だったと思いますけれども、少しずつコロナから脱出し、ウィズコロナの中に明るく伸びやかで子どもたちが楽しんで作っているというのがじわじわと感じられて、とてもいい作品展だと思いました。ただ一つ、注目は昨年よりも2倍作品を展示しているとおっしゃったのですが、キラリエというスペースもあるのですけれども、車椅子の人が見られるのかということです。少し離れたところから作品って見る方がよく見えるので、車椅子の方も見学できるってことを考えていただけるとありがたいなと思います。実際に来られないという話を聞いておりますので、子どもたちの中にも車椅子使っている子どももおりますので、ちょっと工夫いただけるとさらに良くなるなというふうに思いました。ありがとうございます。

松嶋委員

教育長と稲垣委員とほとんど同じ話題になってしまうのですが、まず、10月初旬に私の子どもの運動会を見に行きました。おっしゃっていただいた通り、例年通りコロナ対策ということで午前中のみの開催という形ではあったのですが、天気恵まれて暑いぐらいでした。僕もスマホで動画を撮っていたのですが高温注意の表示が出てしまって録画も撮れなかったぐらいの天気だったのですけれど、そんな中、子どもたちが楽しそうにダンスを披露したり、競技をして競い合っている姿を見せていただいて、子ども自身もとても楽しんでいましたし、子どもの成長を実際その目で見て感じた保護者の方々が多かったと思います。これはもしかしたら感覚的な問題かもしれないのですが、コロナ対策は例年通り実施していますが、例えば、その他の学年の子がやっている競技を徐々に見ることができる回数が増えたり、うちの子も高学年の子のダンスを距離の離れた二階のところから見たりすることが今回できて、それが凄くかっこよくてよかったと言っておりますので、コロナ禍で制限ある中ではありますが、運動会を楽しめるような取組を学校関係者の方々がして下さっているというふうに感じました。今後も、そういった子どもたちの成長を促してくれるようなイベントや行事に関して、開催できるよう支えていただければと思います。

次に、稲垣委員が先程おっしゃっていただいた青少年美術展覧会に私も行って参りました。私の記憶なので正しいかどうかかわからないですが、去年も伺ったのですが、その時と比べて美

術作品の数がもう見てすぐわかるぐらい非常に多くなっていて、コロナによる影響が少なくなったから製作できる日数を取ることができたのかなというふうに想像しながら拝見しました。工夫を凝らしたものや色使いが綺麗なもの、あと、先ほどおっしゃったその人物画についても、何て表現したらいいのか分かりませんが、衣服の質感まで伝わるぐらいすごく上手に描かれており、思わず足を止めて目を奪われる場面が何回もあるような素晴らしい展示だったというふうに思いました。書写に関しましても、書かれている言葉もそうですし、その書かれ方もそうですが、何となくその力強いものが多いというふうに感じまして、中には筆以外のもので書かれているものであるとか、書き方自体に工夫を凝らしているものもあり、生徒たちが熱心に取り組んでいる様子が目に浮かぶような展示だったというふうに感じます。美術作品の点数が凄く多かったからか、1つの大きいテーブルの上に、10点以上の美術作品が置いてあるのですが、真ん中あたりに大きめの作品が寄せられており、背丈の低い方とか車椅子の方は中央付近の作品はよく見えないのかなと感じましたので、その辺りを難しいかもしれないですが見やすいようにしていただければ良かったと感じた次第です。

あと、1週間前に京都新聞の記事で拝見したのですが、これはまだ検討段階だと思いますが、草津市立図書館に学習スペースの設置を検討しているという記事を拝見しまして、そもそも来館されている市民の方から要望が強くあって、夏休みの期間に実施を今検討し始めているという記事の内容でした。そういった新しいことに取り組んでいこうという姿勢自体が素晴らしいというふうに感じました。その上で思ったこととしては2点ありまして、図書館で蔵書がたくさんある場所で勉強をするっていうのが、今の学校での教育の方針に合う点があると1点思いまして、今行っている学校教育の中で、自分で課題を見つけたり、生きる力を育むというふうな基本方針にもあるように、自ら考えたり、調べて発信するといった部分を学習に取り入れている中で、もちろんタブレットが支給されていてインターネットで検索ができて、ただインターネットの検索結果から資料を当てることは重要に思います。また、検索すること自体が自分の主観といいますか、考え方以外の部分、例えば図書館であれば本を見ていて、自分が考えもつかなかったけれども、本から情報を得ることもあると思います

ので、そういった様々な分野の資料が保管されている図書館で、文献をちょっと探しに行ったら刺激も受けながら、参考にしながら勉強できる空間があれば、非常に効果的じゃないのかなというふうに感じました。今、学校でもグループで協議をしながら調べるということもされていますし、そういった部分でも図書館が、子どもたちの学び合えるような場になると、よりいいと思いました。例えば、学校ごとに取り組んでいる内容に合わせた書物などを夏休みの期間に勉強スペースの本棚に設置して、図書館を利用する機会や本を手にする機会を増やしたりすることで、利用者の増加や満足度の向上に繋がっていくのではないのかと感じました。

もう1つ気になった点として、今回図書館で勉強できるスペースがないという要望がどういう背景で届いているのか気になりました。もしかしたらコロナ禍が影響して勉強をする場所を求めている方が多くなったのかなとも思いましたが、そもそもその要望自体コロナ禍前から多く来てたのか、もしくは家で勉強だと、例えばインターネットの動画など、いろいろなコンテンツがあるので自宅だと集中できないからそういった勉強スペースが欲しいということなのか、もしくは、何か家庭の事情や他の要因でそういった勉強スペースを求めているのか、今回急に図書館に勉強スペースが欲しいとたくさん要望が来たのか、それともずっとそういう要望があったのか、その要因が何なのかというところによっては、もしそれが家庭の問題などで図書館で勉強したいということであれば、市や学校がサポートをしたほうが良い内容のこともあると感じました。実際にその勉強スペースを利用された方にアンケートをとり、そこから要因をさかのぼってやるのは個人情報的にも難しいのかなとは思いますが、もし実際にそういった勉強スペースを設置される事になった際には、図書館で勉強をする理由を統計的なデータなどで少しでもすくい上げて、傾向がつかめるといいというふうに感じました。

あと1点、最近iPadの新しいモデルが発売されました。今回発売されたモデルはもちろん、機能がすごく上がっているというのがありますが、価格も非常に上がっています。もちろん半導体不足も影響していると思いますが、本体の価格も上がっています。その以前のモデルは据え置き値段にはなっていますが、今後もしかしたら修理費自体も上がってくる可能性もあるのではな

小辻委員

いかと感じます。ただの懸念ではありますが、つい先日、どこの自治体のニュースか忘れましたけれども、学校でもタブレットの故障で修理費が予算より増しているとそういった記事も見かけましたので、草津市の方で今後、もし修理費が増加した場合なども考慮して検討をされた方がいいのかなというふうに感じました。私からは以上です。

私も第60回草津市青少年美術展覧会の方にお邪魔させていただきました。私が行った際には空いており、車椅子の方も見ておられましたが、特に困っている様子もなく見られていたという印象です。私が行ったのは平日の昼間だったのか高齢者の方が多く、多分お孫さんの作品の写真を撮られていたり、非常にいい機会だなというふうに思いました。特に今年度は、昨年と比べて展示数が増えており、そういうふうに展示される機会が非常に重要だと思います。私自身も子どものころに書写などでそういうのに出たことがあったのですが、家族と一緒に行きまして、また、家族以外の方に見ていただく機会は、今後、増えていってくれとありがたいと思います。小学校や中学校、草津市でもそういう機会を作っておられるという学校もあると聞いておりますが、より大きな会場で表彰をしていただければ、非常にいいかなと思いました。また、感染レベルが1ということで、感染症対策のために、前だと住所等を書かなくてはいけなかったのが、昨年度と比較すると非常に簡素に入れるというのは非常にありがたかったです。書写に関しましては、特に書道が非常に元気な字が多くて、そういうものが評価されているのだなと話されている来場者の方もおられたりしました。綺麗に書くというだけじゃなくて、自分を表現する場として、この書道が機能しているのであれば、それは非常にいいことだなというふうに思いました。図工・美術の作品のほうも拝見させていただきましたが非常に幼児から皆さんしっかりと良いものを描かれていて、見ていてわくわくするような時間を過ごさせていただきました。しっかり対策された上で大変かなと思いますけれども、少しディスプレイを見やすくしていただけるといいのかなと思います。後ろに作品があるので、写真を撮るために身体をのり出して、作品を傷つけてしまわないか、他の方がもし態勢等を崩された場合、作品を傷つけてしまったら心配だなというところもありましたのでそのあたり、様々な関係があ

と思いますけども、より作品その物を大事にした形で見やすい環境を次年度以降、考えていただけたらと思いますし、また展示数も今年度それ以上に増えるか、もしくは今年度と同等の展示数だと思いますので、努力していただけるとありがたいなと思っています。

草津市の話ではないのですが、教育委員会関係の気になったニュースとしてつい最近、福岡で大雨の影響により臨時休校になり給食の食材が廃棄しなくてはならなくなり、職員たちが買い取りをしたというニュースがありました。その時の代金の一部なのか全部なのかはわかりませんが、それを持ち出してタブレット端末の支払いに充てた方がおられたのです。そのニュースの内容そのものではなくて、気になったのは職員の方々が廃棄するものを買取りするという土壌について非常に気になりました。もちろんもったいないから買うのは有りだと思いますけども、草津の方はどの様になっているのか知りませんが、やはりそういうふうな感じで、職員の中にも強要せざるをえないという状況もあるなら非常に厳しいものがありますし、それがハラスメントに繋がることもありますので、ぜひ注意していただけたらなというふうに思います。

あと、立命館の方で教育委員会からも後援いただいておりますが、BKCウェルカムデーとして、びわこ・くさつ健幸フェスタ2022というイベントが11月5日に開催されます。この中には、スポーツや食、SDGsがテーマになっており、お子さんたちもたくさん参加していただけるようなスポーツ企画とか、それこそレイクスさんにも御協力いただいておりますので、是非、お子さんたちに来ていただきたいなと思っています。いろいろな場所で子どもたちの笑顔を見ることができる機会が増えてきましたので、その中で何か新しい学びや機会もできたらいいと思っています。以上でございます。

我孫子委員

10月19日に草津市のレッツエンジョイスportsという授業に母校である志津小学校の6年生約160名の子どもたちと一緒に体を動かしてきました。今回は私も行ったのですが、現役の走り高跳びの選手で2メートル27センチを飛ぶ現役選手も連れて行きました。今年で3回目になります。今までは走り方を教えるという事を中心にさせてもらっていたのですが、それとプラスし

て現役選手に出てもらおうということで、前で走り高跳びではないですけど、ジャンプしてもらったり、あと手を挙げてもらって一緒に競争してもらうとか、体感してもらっていうことを今までより増やして行いました。やっぱりほんものに触れてもらうことで盛り上がりまして、こういう機会は選手にとってもよかったですし、子どもたちにとってもいい機会になるのかなというのが再確認できたいい時間になりました。小学校に行った時に、グラウンドで非常に天気も良くてさせてもらったんですが、砂場がカチカチでした。校長先生も砂場の砂は入れて欲しいと思っている事をおっしゃっていたのですけれども、確かに各学校で環境のところとかいろいろあると思いますが、また御検討いただければなと思いました。

もう一つは、参加はさせていただいておりませんがくさつランフェスティバルを見に行かせていただきました。御家族の皆様で参加されているのがとても楽しそうでとてもよかったなと思ってみておりました。ラジオでたまたま参加されていた方がコメントを出されていて、お父さんだと思うのですけれども、御家族でこれに向けて練習をしてきて当日も皆で走りきれて、家族の絆がより深まりましたっていういいコメントでした。非常にいいイベントですのでこれからもずっと続いて行けるイベントになればいいと思いました。次回こそ参加したいと思います。以上です。

それでは教育長報告につきましては、以上で終わらせていただきます。

—————日程第4—————

次に日程第4、付議事項に移ります。

議第52号「臨時代理の承認につき議決を求めることについて」は、人事に関することございまして、また、議第53号及び議第54号、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定により、教育委員会の事務に関する議案について意見を市長に申し出るにつき議決を求めることについて」は、市議会11月臨時会に関する議案であり、現時点で公表されていない議案でありますので、会議を公開しないこととすべきであると思います。地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項で

	は、「教育委員会の会議は公開するただし、人事に関する事件、その他の事件について、教育長または委員の発議により、出席者の3分2以上の多数で議決したときは、これを公開しないことができる」となっておりますので、この規定に基づきお諮りをしたいと思います。議第52号から議第54号を公開しないこととするについて御異議ございませんでしょうか。
各委員	— 異議なし —
藤田教育	異議なしと認めます。よって議第52号から議第54号まで公開次第しないことといたします。なお、この議案につきましては、報告事項の終了後に審議を行うことといたします。 では次に、議第55号「草津市立教育研究所規則の一部を改正する規則案」を審議いたします。事務局の説明を求めます。
教育研究所長	議第55号「草津市立教育研究所規則の一部を改正する規則案」について教育研究所の木村が御説明申し上げます。報告書の15ページ及び16ページを御覧ください。教育研究所規則につきましては草津市PTA連絡協議会の解散に伴い部分改定を行います。17ページの新旧対照表を御覧ください。教育研究所運営委員会におきましては、これまで第8条第7項の規定に基づき、草津市PTA連絡協議会の代表の方に委員を委嘱して参りましたがこの度、草津市PTA連絡協議会の解散に伴い公募により、草津市立小中学校の保護者に委員を委嘱することとし規則の部分改定を行います。併せまして、7号を除く2号から8号の各規定につきましても、団体等の名称について必要な修正も行います。なお、規則の改正について、本日議決をいただきましたら令和5年2月の第2回運営委員会に向け委員委嘱の手続きを進めて参ります。 以上簡単ではございますが御説明申し上げます。
藤田教育	ではただいまの説明につきまして、何か御意見、御質問がございましたらお願いをいたします。
小辻委員	今回、PTA連絡協議会が解散ということで、2点確認させていただきたいのが、まずPTAがその連絡協議会に類するもので

教育研究所長

今後、復活し新たに始動することがあった場合には、旧規則に戻すようなことを検討されるのか、それとも新規則で今のところは考えておられるのかということを確認させていただきたいです。もう1点は、どういう形で公募され、いわゆる普通の草津市の公募委員の募集要項に照らし合わせてされるのか、それともまた違うのか、どのような形で公募されるのかを教えてくださいませんか。

小辻委員

まず1点目ですが、今のところ当面この形で、今後させていただく様に考えております。
2点目の公募の仕方についてですが、一般的な公募の仕方に則りまして、予め広報くさつでお知らせしながら募集をさせていただく形を検討しています。

藤田教育長

草津市の普通の公募委員の要項に則るということは、委嘱は1人につき1つだと思いますが、もしその方が他の委員や公募委員をされていたらできないということですね。わかりました。様々な方がしていただけるととてもいいと思います。

他にございませんか。では御異議ございませんでしょうか。

— 異議なし —

藤田教育長

異議もないようでございますので、議第55号は原案通り可決されたものと認めます。

—————日程第5—————

次に日程第5、報告事項に移ります。事務局の説明を求めます。

教育総務課長

報告事項の1「寄付の受け入れ報告について」教育総務課の吉田が御説明申し上げます。報告書は21ページでございます。くさつ☆パールプロジェクトチーム様が既存図書の著者様からそれぞれ寄付品目記載のものを寄付いただきました。簡単ではございますが、寄付受け入れ報告につきましては以上でございます。

藤田教育長

ではただいまの報告について、御質問等がありましたらお願いします。

それでは報告事項につきましては以上で終わらせていただきます。

以上をもちまして、本日の議事は終了となりますが、ほかに何かございましたらお願いいたします。

それではこれもちまして10月定例会を終わらせていただきます。

閉会 午後4時00分